

令和7年4月
一橋大学

令和7年度一橋大学一般選抜（後期日程）第2次試験

出題の意図等 【外国語（英語）】

I

長文読解問題。問題文は民主主義の危機を論じる論説文であり、「民主主義には自由なコミュニケーションが必要であるが、不完全なものでしかありえないコミュニケーションによって民主主義は危機に陥る」という逆説を提示している。この問題文に基づき、文章全体の主題および理路を正確に把握する力、文の構造を理解し前後の文脈をふまえて文章を解釈する力、類似する事例を適切に腑分けする力、単語を並べ替えて正確な英文を作る力、熟語成句や比喩的な表現について適切な意味解釈や空所補充を行う力、などを問う。

設問1の和訳問題は、二重否定 nothing . . . impossible、および仮定法 would を理解できているかを問う。

設問2では、前段落で提示された the Tower of Babel の寓話の内容と本段落で説明される現実のコミュニケーション・テクノロジーの問題の関係を理解し、適切に説明できるかを問う。

設問3では、問題文の内容に即して下線部 imperfect tools が具体的に何を指すかを把握し、下線部に続く一文の内容を正確に理解し説明できるかを問う。

設問4では、judgment, trial という比喩を本論の内容に即して具体的に説明できるかを問う。

設問5の和訳問題では、where で導かれる関係詞節と no matter how で導かれる従属節が含まれる複雑な文構造を理解したうえで、前後の文脈をふまえて解釈できるかを問う。

設問6は、段落全体の内容を理解し、it の指すものを正しく把握しつつ適切に説明できるかを問う。

設問7は、段落全体の内容を理解し、the Dunbar Number が表わすものを適切に説明できるかを問う。

設問8は、英単語を並べ替えることによって、文法的に正しく前後の文脈に即した英文を作ることができるかを問う。解答は3番目 immune、6番目 communication である。

設問9は、前後の文脈に即して空欄を補充し、文章を完成させることができるかを問う。解答はハである。

設問10は、前置詞および副詞を適切に使うことができるかを問う。解答は a ハ、b ニ、c イ、d ロ、e ホ である。

設問11は、問題文全体の内容を正しく理解し、問題文のなかでの democracy の定義を読み取ることができるかを問う。解答はロである。

Ⅱ

3つの英語の質問から1つを選択し、100語～140語の英語で答えることを求める設問である。正しい文法と語法の理解にもとづき、正確かつ多様な語彙を用いて叙述する力 (language)、選んだ質問の設定を正確に把握したうえで能動的に考えて的確な応答を発信する力 (content)、適切な形式をもって論理的に文章を構成する力 (organization) を測る。